



あかねっこ

山形市立蔵王第二小学校
発行日 令和6年12月20日
校長 鈴木 章人

No.9

■県立山形工業高等学校の生徒さんとの交流学习とっても楽しかった。

12月6日（金）県立山形工業高等学校の生徒さん4名が来校し、5年生の皆さんと交流学习を行いました。自己紹介の後、山形工業高校と蔵王二小をオンラインでつなぎ、山形工業高校さんの学校紹介をライブ映像で説明を受けました。その後、早速パソコンを使ってプログラミングの体験です。

高校生のお兄さんからわかりやすく指導を受けながら画面上のネコを動かすことに挑戦しました。

後半はプログラミング学習の成果の見せ場です。なんとプログラミングで、「ドローン」を動かすことに挑戦しました。風切り音をたてながら宙に浮くドローンに歓声があがり、ドローンの真下にいると強い風が下りてくるのを体験しながら、自分の思うとおりにドローンを飛ばすことに挑みました。なかなか難しく、高度な技術が必要でしたが、楽しくプログラミングについて学ぶことができました。

ご指導いただいた県立山形工業高等学校のみなさん、本当にありがとうございました。

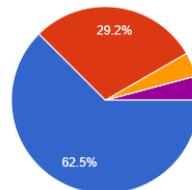


■大好評のフリー参観でした。アンケートのご回答ありがとうございます。

保護者をはじめ、地区の多くの皆様に学校での子どもたちの様子を見ていただき、地域に開かれた学校となるために、朝活動から下校までの間、自由な時間に参観できる「フリー参観」を実施しました。

多くの方からお越しいただき、授業はもちろん、授業以外の活動も参観いただくことができました。ご回答いただいた方の9割を超える方が今後もフリー参観を続けてほしいとお答えいただきました。

来年度の年間行事計画を検討する際に実施できるよう調整したいと思います。



今日のフリー参観日のような「いつでも だれでも」参観できる企画についてご感想をお聞かせください。

- 是非継続してほしい
- 継続してもよい
- 実施しなくてもよい
- 必要ない
- 一緒に暮らしていないから、話しはきくけど、学校生活、短歌や絵画など見られて良かったです

■第2学期終業式が行われました。

長かった2学を終え、明日から19日間の冬休みになります。終業式で校長から2学期の頑張りを振り返り、「心の成長」について話をしました。また、児童を代表して、二年生の平賀絢土さん、五年生の西田悠人さんの二名から2学期がんばったことを発表してもらいました。

★ 2年生代表 平賀絢土さん ★

ぼくが二学きがんばったことは三つあります。一つ目は、かん字です。二学きのかん字は、ぜんぶで六十五文字でした。書きじゅんやおくりがなが、むずかしかったです。とくに、むずかしかったかん字は、「楽しい」です。書きじゅんが、まん中からはじまって、左がわを書いてから右がわを書くところです。ぼくは、自学でたくさんれんしゅうしました。テストと同じようなもんたいも自分で作りました。がんばってれんしゅうしたので、まとめのテストでも百点をとることができました。

二つ目は、算数のかけ算です。二の단은、一年生でならったことびだから、かんたんでした。五の단은、時計と同じだからかんたんでした。けれど、だんの数がふえていくとむずかしくなりました。一番むずかしかったのは、八の단です。けれど、かけられる数とかける数を入れかえてもこたえは同じだとわかって、おぼえることができました。家でもたくさんれんしゅうしました。おばあちゃんに時間をはかってもらいました。何回もれんしゅうしたので、上りと下りで三十びょういなができてうかきました。

三つ目は、じきゅうそうきろくです。きょねんは、三分二十一びょうでした。このタイムをちぢめることがも

くひょうでした。三しゅうめからは、いきが切れそうになりました。けれど、前にいた人をゴールふきんでぬかしました。そして、今年は、三分一びょうでした。もくひょうもたっせいできて、じゅんいもきょねんより上がって、うれしかったです。三学きも、楽しくべんきょうをしていきたいです。

★ 5年生代表 西田悠人さん ★

ぼくががんばったこと、一つ目。ぼくががんばったことは、初めてなった応援団です。ぼくは、初めての応援団員だったので、ふりつけや出す声の大きさなどがわかりませんでした。組頭のこうきくんやまゆさんが、親切に、やさしく教えてくれました。何回も練習しているうちに、みんなと同じようにふり付けなどができるようになりました。そのおかげで、運動会当日は、力強く応援することができました。のどががらがらになったけど、最後まであきらめずにがんばりました。成績発表で、教頭先生の「応援賞、赤組！」と聞いた時、ぼくはとてもうれしかったです。

ぼくががんばったこと二つ目、それは、持久走大会です。ぼくは、体育の時間に千メートルを走るとき、ひざを少し高く上げて走るように気をつけました。あともう一つ、今までは、三周目でつかれてしまって、最後の一周を走るのが遅くなっていました。今年は、疲れても走り続けるようにがんばりました。みんなから「あと二周。」「あと一周。がんばれ！」と、応援してもらったから走りきることができたのかもしれない。持久走大会の時には、息切れして疲れたけど、「五分三十五秒」で走ることができました。

ぼくのがんばったこと三つ目は、「あかねっこ発表会」です。準備や練習をする時間があまりなくて、覚えられるか心配でしたが、発表会の日には、声がかすれたけどクイズや最後の言葉など、がんばってやり切りました。

ぼくは五年生になって、あきらめないでいることができるようになってきたなど、自分で思っています。これからも、自分でしたいことや、しなければいけないことを、最後まででいねいにしていきたいと思います。



■青少年読書感想文全国コンクール 山形県審査会 おめでとう!

2年生の原田直澄さんが小学校・低学年 課題読書で「最優秀」に選ばれました。

愛がたっぷりな感想文を紹介いたします。言葉の重みや大切さを考えさせられますね。

課題図書 ～ささきみお・作「ごめんね でてこい」～

「ぼくの心の中の気もちたち」 山形市立蔵王第二小学校二年 原田直澄

大すきな人なのに、じぶんの気もちがもやもやすることがぼくにもあったよ。でん気をつけないで本を読んでいたとき、ママに、

「目がわるくなってしまおうから、電気をつけて読みなさい。」

と言われたよ。そのときぼくは、

「はい。」

と言えなかったんだ。わかっているんだけど、なんでだろう。言えなかったよ。

おともだちのゆうちゃんがあそびにきたときに、あいさつをしなかつたゆうちゃんを、おばあちゃんがしかつたよね。

はなちゃんは、「なんで？」の気もちがどんどん大きくなって悲しくなったのかな。

それで、

「おばあちゃんなんて、きれい！」

と言ってしまったんだよね。本当はきれいじゃないのに、つい言ってしまったんだよね。もし、ぼくがはなちゃんだったとしても、きっと言ってしまうと思うよ。プールのかんしいんをしているぼくのおじいちゃんも、プールサイドではしゃいでいる子をしかつていたよ。

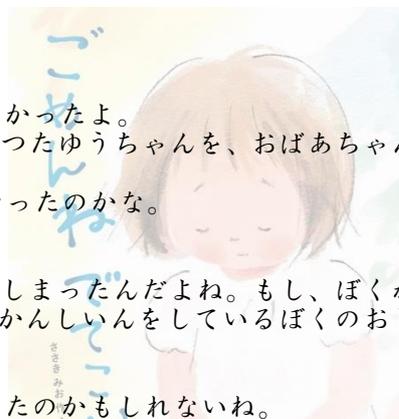
「けがをしていやな気もちになってほしくないから、つたえている。」

と言っていたよ。その子のことをたいせつに考えているから、しかつたのかもしれないね。

はなちゃんのおばあちゃんがびょうきでにゆういんしてしまったとき、しんばいでしかたなかったよね。やっとおみまいに行って、やっと言えた「ごめんね。」のことば。どうしてはなちゃんは、このことばが言えたのかな。きっと、はなちゃんの心の中で「やさしい気もち」「きびしい気もち」「がんばる気もち」「しんばいする気もち」がそうだんして、きょう力したから言えたのかもしれないね。

ぼくは、「ごめんね。」が言えたはなちゃんなら、「だいすきだよ。」も「いつもありがとう。」だって言えると思うよ。

ぼくの心の中にもいるいろんな気もちたち。はなちゃんのように、そうだんしたりきょう力したりして、言えるようになりたいな。



■1月の予定について

※ P：パワーアップタイム L：ロング昼休み

8日(水) 通学路安全点検 9日(木) 始業式 ※登校時間(学校到着時間)が8時～8時10分になります。

PTA 社会部編集会議・一斉下校・PTA 登下校指導 10日(金) 避難訓練 14日(火) 身体測定・L

15日(水) 小教研(午前授業) 16日(木) たんぼぼお話の会・PTA 三役会・全体会・L

21日(月) だんごさしの会・P 22日(水) 職員会議 23日(木) 3～6年スキー教室・L 27日(火)

情報緒モラル・薬物乱用防止教室・学校クイズ大会 28日(火) 学校運営協議会・P

30日(木) 3～6年スキー教室・L